

公表	放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表
----	--------------------------

○事業所名	ハッピージュニア			
○保護者評価実施期間	R7年5月15日 ～ R7年6月4日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35名	(回答者数)	23名
○従業者評価実施期間	R7年5月15日 ～ R7年5月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年6月4日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子ども適応行動について、日々分析しており、支援方法に一貫性があるように意識している。	・不適応行動についてはストラテジーシートを活用して、行動の目的、背景、結果を整理し、理想行動ができるようにどのような環境戦略や言葉かけが必要か具体的に話し合いをしている。 ・応用行動分析をもちいて考えるように心がけ、対応に迷った際には基本原理に戻り学びなおすようにしている。	・セミナーや事例検討を重ねて、知識を蓄える。 ・支援については、職員同士で振り返りをしたり、動画におさめるなどしてフィードバックし、自身の子どもの関わりを客観的に見られるようにしたい。
2	・活動プログラムの立案を工夫している。	・毎月担当者を決めて、児童発達支援管理責任者と相談しながらすすめている。 ・「安全であること」「子どもにとって楽しいこと」「目的が明確であること」「季節感やこどものトレンドを取り入れること」を意識して立案している。	・5領域との関係性を明確にし、保護者様にも伝わるように、活動紹介する。そのために5領域の解釈を深めるセミナーや勉強会を実施したい。
3	HPやSNSの活用を行っている。	・現在はInstagramを中心に、事業所の様子や活動紹介など児童の写真や動画を中心に発信している。	・支援の方法や根拠、実際の効果など、集客につながったり、家庭での支援に活用できるような内容を発信していきたい。（実際に支援している様子など。）

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族支援プログラム（ペアレントトレーニング、研修の機会等）を十分に実施できていない。	・個別に対応する際には、児発管が中心に行い役割が集中している。職員全員が〈自分ごと〉として捉えられていない。 ・知識技術の研修は重ねているが、アウトプットする機会が少なく、実践はできても、レクチャーするスキルが備わっていない。	・保護者様から相談があった事例について、児発管の意見だけでなく保育士や児童指導員の立場からも意見を求め、事業所全体の意見として話すように徹底する。 ・自身の支援について、理由や根拠を加えて説明できるように日々のミーティングでアウトプットする練習を重ね、対保護者様にも実践できるようにする。
2	父母の会などの保護者行事ができていない。	・土曜日開催で検討していたが、イレギュラーが苦手な児童に配慮した点と職員数に限りがあり実施には至らなかった。	・祝日など職員が十分に配置できる日に、保護者様のニーズを探りながら行事が開催できるように検討していきたい。
3	地域に開かれた運営ができていない。	・利用者をあずかっている中での実施が困難であった。	・児童の利用時間ではない時間帯に、地域の方が気軽に見学に来られるように、検討していく。